

2025.11.10

◆CONTENTS

箱根ヶ崎駅西地区の町名を「箱西」へ ▶P4

私たちの税金、無駄なく効率的に活かされたか
～議員がチェック&評価～ ▶P6～P7

ギカイ の ひろば



下澤 副議長



小川 議長



井上 議員



大和 議員



原 議員

瑞穂町議会ってどんなところ？

特集

議会にぜひ、お越しく下さい！



香取 議員



森 議員



榎本 議員



川島 議員



古宮 議員



大坪 議員



浜崎 議員



高橋 議員



下野 議員

特集

議会にぜひ、お越しください！

瑞穂町議会では、3月、6月、9月、12月に本会議を開催しています。議場では、町民の代表である議員が一般質問をしたり、条例や予算などの審議を行っています。
また、委員会も開催しており、いずれも傍聴することができます。
今号では、より多くの方に議会へお越しいただきたいため、議会の紹介をします。

傍聴席から見た議場



議長席から見た議場



議会には他にもこんなお部屋があります

全員協議会室



委員会室



議会の予定は、HPで確認することができます



まずは、議場がある
役場4階の議会事務局へ。



議会事務局で傍聴届を記入し、
傍聴券と資料を受領してください。



お帰りの際は、傍聴券を議会事務局へ
ご返却ください。



傍聴券と資料を受領したら、
いざ傍聴席へ。



令和7年第3回瑞穂町議会定例会議案

全会一致で可決（同意・適任・認定）された議案等

議案第	54号	瑞穂町下水道使用料審議会条例	
議案第	55号	瑞穂町議会議員及び瑞穂町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	
議案第	56号	瑞穂町乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例	
議案第	57号	瑞穂町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第	58号	瑞穂町下水道条例の一部を改正する条例	
議案第	59号	瑞穂町副町長の選任について	
議案第	60号	人権擁護委員の候補者の推薦について	
議案第	61号	町区域の変更について	pick up1
議案第	62号	令和7年度瑞穂町一般会計補正予算（第5号）	
議案第	63号	令和7年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	
議案第	64号	令和7年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第	65号	令和7年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算（第1号）	
議案第	66号	令和7年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
議案第	67号	令和7年度瑞穂町殿ヶ谷財産区特別会計補正予算（第1号）	
議案第	68号	令和7年度瑞穂町石畑財産区特別会計補正予算（第1号）	
議案第	69号	令和7年度瑞穂町箱根ヶ崎財産区特別会計補正予算（第1号）	
議案第	70号	令和7年度瑞穂町長岡財産区特別会計補正予算（第1号）	
議案第	71号	令和6年度瑞穂町一般会計歳入歳出決算認定について	
議案第	72号	令和6年度瑞穂町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第	73号	令和6年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第	74号	令和6年度瑞穂町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第	75号	令和6年度瑞穂町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第	76号	令和6年度瑞穂町殿ヶ谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第	77号	令和6年度瑞穂町石畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第	78号	令和6年度瑞穂町箱根ヶ崎財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第	79号	令和6年度瑞穂町長岡財産区特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第	80号	令和6年度瑞穂町下水道事業会計利益の処分及び決算認定について	
議案第	81号	町立瑞穂第一小学校及び瑞穂第四小学校講堂空調設備設置工事請負契約について	pick up2
議案第	82号	令和7年度瑞穂町一般会計補正予算（第6号）	
議員提出 議案第	1号	建築物石綿含有建材事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める意見書	

pick up1

議案第61号 町区域の変更について

箱根ヶ崎駅西地区の町名を「箱西」へ

Q 変更に伴う費用はかかるのか。

A 住所変更に伴うシステム改修、地区内の現地調査、権利者調査、説明会の支援などの費用がかかる。また、当地域の住民には免許証の住所変更などの手続きを取っていただくことになる。

Q 住民説明会に出ることができなかった方への対応は。

A 住民懇談会を1回、住民説明会を2回開催した。そこに来られなかった方への対応として、「箱西」という名称が仮で決まったことを地区内全住民に通知している。



9月に行われた駅西盆踊り

pick up2

議案第81号 町立瑞穂第一小学校及び瑞穂第四小学校講堂空調設備設置工事請負契約について

一小・四小講堂にガスヒートポンプのエアコン設置

夏季における熱中症対策および学習環境の向上並びに災害時における避難所機能の維持および向上を目的に、ガスヒートポンプの空調設備を講堂に新設します。停電時は、バッテリー電源によりガスエンジンを駆動させ、発電機を回すことで、必要な電力を確保することができます。

契約方法 制限付一般競争入札
 契約金額 1億549万円(落札比率85.19%)
 契約相手 八重洲工業株式会社(立川市)
 工期 令和8年1月21日まで

Q 機材などの搬入もあるが、安全の確保は。

A 基本的には平日の午前9時から午後5時に工事を行うが、工事エリアを区切って安全を図る。搬入などは、安全員や誘導員を立てる。

Q 体育館を使う体育の授業に制約はかかるのか。

A 学習発表会などの大きなイベントは学校行事を優先するが、それ以外は工事を中心に進めるため、体育の授業はできない。

Q 災害時は何日程度の運転が可能か。

A 最大で6日間はもたせる設計。



※全ての議案の詳細は
HPでご覧になれます。



歳入

- Q 個人町民税が前年度比1億843万円減となった理由は？
A 国の定額減税による影響。
- Q ふるさと納税に伴う個人町民税の控除額は？
A 控除額は5,664万円程度。件数は1,583件。

福祉・健康

- Q MIZCUL (ミズカル)の委託の内容と成果は？
A だんだん畑でのICT活用や町民農園プログラムの企画運営などを委託した。オープン後、実現可能性のある計画となったと考えている。



MIZCUL (ミズカル)

- Q 子ども計画を策定したが、子どもたちの意見などが計画に反映されたのか？
A 産業まつり、こどもフェスティバルで子どもたちから意見を聴き、子ども計画の中に掲載した。
- Q 子ども家庭支援センターでの養護相談が255件と報告されているが、どのように対応したのか？
A 職員が直接児童と会って、身体の傷やあざがないかなどの安全確認をし、保護者からも聞き取り、重篤な場合は、児童相談所に案件を送致して対応した。相談件数は増加傾向にある。

産業・観光

- Q ふるさと納税返礼品の特徴は？
A 加工品が79品目、工業製品が42品目、農畜産物や体験できるものなどがあり、件数では特にプロテインが好調。
- Q プロモーション動画制作業務委託料の成果は？
A 再生回数が約2万回となった。動画の2次元コードを冊子などに入れることで、デジタルとアナログとのハイブリットで町のPRができるようになった。



町の観光PR動画

教育

- Q 学習サポーターが20名からクラスサポートスタッフ10名に変更になったが影響はなかったか？
A 学校現場からはさらに充実してほしいとの声があがっている。都との連携事業であり、研究を進めている。
- Q 不登校対策の取り組みと成果は？
A 教育支援室「いぶき」を居場所として紹介した結果、利用者が増加した。また、二中には心の居場所「つむぐ」を開設した。
- Q 予算の段階ではスクール・ソーシャル・ワーカー2名体制であったが、9月までは1名での対応となった。影響はなかったのか？
A 一時期欠員が生じ、苦しい状況もあった。ローワークなどと連携し、募集をかけて9月から採用することができた。

生活・環境

- Q ごみ量は微減し、リサイクル率が増加しているが要因は？
A 6年度から硬質プラスチックと剪定枝のリサイクルを始めた影響と考えている。

交通

- Q デマンド交通の利用者が増えていないが、その対策は？
A 認知されるまでに時間を要している。広報の充実、東西区分の休止(利用促進キャンペーン)で利用者が増えてきている。
- Q コミュニティバスの代替交通であるデマンド交通は、制限を設けず誰でも使えるようにすべきでは？
A 路線バス、コミュニティバスを利用するのが困難な方向けの交通手段と考えている。

くらし・安全

- Q 騒音測定機器更新で静止画機能追加の効果は？
A 都のカメラが撮影した静止画を町でも見られるようになった。騒音の苦情を受けた際に、飛行の実態と機種、飛行ルートの確認に活用できている。
- Q 消防団員の制服などの購入費が高額になった理由は？
A 令和7年度の消防団員の改選に合わせ、消防団員170人分の新基準の制服などを新調した。



7月27日に実施された消防団消防ポンプ操法審査会

今回の議会には、令和6年度一般会計・各特別会計・下水道事業会計の決算認定議案が町から上程されました。決算特別委員会での審査後、本会議においてすべての会計ともに全会一致で認定しました。



決算特別委員会で審査

議案が上程された後、議会では、決算特別委員会を設置し、委員長に香取幸子議員、副委員長に大和雅彦議員を選出。議長、議会選出監査委員を除く12名により、3日間にわたり町側へ質疑し、4日目に議員間討議を行いました。

まちづくり

- Q 沿線まちづくり検討業務委託料約1,412万円の成果は？
A 新駅周辺だけではなく、より広域的に町全体にその恩恵を広げていくという観点から町の他の事業との連携を分析した。
- Q 駅西土地区画整理事業における保留地処分は、令和6年度でどこまで進んだのか？
A 令和6年度末をもって、面積換算で約78.7%の販売実績となっている。

事討 項議 討議対象となった施策 (P8・P9 参照)

※決算書の詳細は
HPでご覧になれます。



成果は上げられたのか

議会の判断は!

長期総合計画の基本目標6

「便利で快適に暮らせるまち」

施策分野2 公共交通

事項議

コミュニティバスの運行について



討議での主な意見



コースの一部廃止は適切な判断であった。

コースの一部廃止の結論を早く出すべきであった。

乗車率向上のための取り組みは検討の余地があった。

PR不足。もっとPRに予算をかけてもよかったのではないか。

住民の意見が反映されていたのか疑問である。

結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。



事項議

デマンド交通の実証実験について

討議での主な意見

コミバスの代替交通として、期待できる。

収支率については大きな課題がある。

コミバスの代替交通なのに年齢制限などがあることは問題。

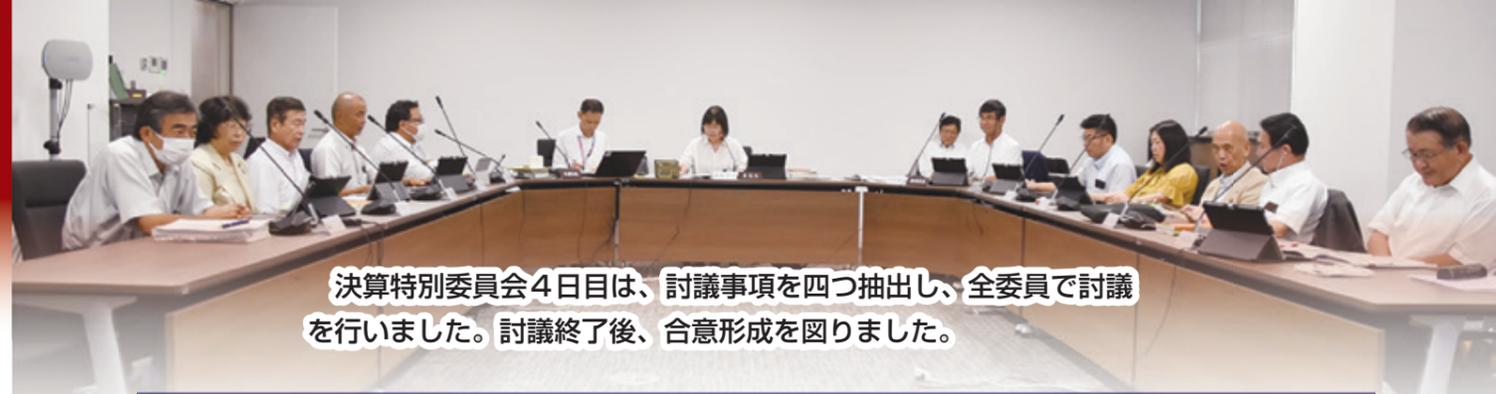
福生病院に行けるコースがあるのは非常に良い。

実績として登録者数が少ない。啓発・PRや登録方法に課題があったのでは。

1台での運行には利便性に問題がある。



結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。



決算特別委員会4日目は、討議事項を四つ抽出し、全委員で討議を行いました。討議終了後、合意形成を図りました。

長期総合計画の基本目標2

子どもたちがのびのびと育つまち

施策分野5 確かな学力の育成と個性と創造力の伸長

事項議

教育に携わるスタッフについて



討議での主な意見

スタッフの制度は充実しているが、連携に懸念がある。

スクール・ソーシャル・ワーカーは2名配置のところ、1名しか配置できなかった期間があった。人材確保に課題があるのでは。

支援スタッフが20名から10名に減ったが、その影響について検証がされたのか疑問である。

部活動コーディネーターが配置されているが、地域連携の動きがなかったのは問題ではないか。

ひかり学級の開設は新規事業として成果があったと評価できる。



ひかり学級(四小)

結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

事項議

不登校対策の推進について

討議での主な意見



教育支援室「いぶき」

教育支援室「いぶき」の利用者が倍以上に増加し、居場所として必要性が再認識された。

不登校の原因の分析を科学的に行う必要がある。「Q-U」などを導入すべきでは。今後は幅広い状況に対応する必要がある。

二中に「つむぐ」を開設し、別室登校の取り組みを始めたことは評価できるが、周知不足では。

タブレットの持ち帰りやリモートでの授業参加など、学びの機会を保障する取り組みを加速すべき。

結果→決算委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

「いぶき」は利用者が急増したが、スタッフの数が不足し、対応に影響が出ていた。

※Q-U…児童・生徒の意欲や満足度、学級の状態を測定する検査



古宮 議員(監査)

納得度88%

自動運転バス実証実験

交通不便地域解消、公共交通の持続可能性向上など、町の公共交通が維持・活性化されることを期待する。



下澤 議員

納得度85%

各種計画策定

策定中の第5次長期総合計画後期基本計画と策定過程にある各種計画との整合性が図られているのか疑問であり、さらなる一歩が望まれる。



香取 議員

納得度90%

瑞穂町PR動画作成

一過性のPRではなく、地域経済や観光戦略への転換が進むことを期待する。子どもたちが楽しんで参加できたことが何よりである。

納得度85%

デマンド交通実証実験

実証実験の開始は評価できるが、スタート時の利用制限が厳しかった。もっと多くの人が利用しやすい条件を設定すべきであった。



小川 議長

納得度95%

自転車用ヘルメット着用促進補助金

令和5年度のみを令和6年度まで延長することで、さらに229件への補助が可能となったことは高評価。



原 議員

令和6年度の 町政運営 議員はこう 評価した!

6年度決算に対する議員個人としての評価です。議長

および監査委員は、決算特別委員会委員ではありません。

納得度85%

障がい者(児)支援

自閉症・情緒障がい特別支援学級「ひかり学級」の開設、基幹相談支援センターの開設があり、今後の支援強化に期待。



川島 議員

納得度80%

デマンド交通

誰でも乗れるコミュニティバス路線の一部廃止に伴う対応策であるデマンド交通に年齢制限を設けていることは疑問である。



榎本 議員

納得度90%

公共交通

コミュニティバス事業では、コースの見直しを図ったことは評価できる。デマンド交通については、当初から大胆に取り組んでもよかったのでは。



下野 議員

納得度95%

中央体育館のエアコン設置工事

暑さ対策、スポーツ環境の向上と、併せて災害時には指定避難所となる。また、都補助金を活用し設置できたことは評価できる。



大和 議員

納得度80%

観光

プロモーション動画は、小・中学生の出演でオリジナル要素があった。今後、どのように観光事業に結び付けていくか注視していく。



高橋 議員

納得度85%

給食費無償化

子育て支援のために、私立の児童・生徒などを含む学校給食費の無償化への取り組みは評価できる内容であった。



大坪 議員

納得度85%

各課連携に課題

工事契約に一部不調もあったが、おおむね当初の計画通りにできたことは評価。町のポテンシャルをさらに引き出す全庁的な取り組みに課題が伺えた。



森 議員

納得度90%

女性消防団員の活躍に期待

女性消防団員は町の安全を支え、消防団のPR活動を通じ、地域の絆を深める重要な存在。その努力と貢献は高く評価されるべき。



井上 議員

納得度90%

資金融資利子補給金

町指定の金融機関から年1.6%で融資を受け、町の0.8%補助により実質0.8%で利用可能。しっかり周知しつつ継続的な活用を。



浜崎 議員

榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

老老介護・認知介護の
実情と対策は



町長 地域包括ケアシステムをより推進する

質問 約800万人といわれる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、日本ではすでに65歳以上の高齢者が人口の29%を超え「超高齢社会」となっている。そのため、社会保障の負担増、医療・介護体制維持の困難化、労働力不足などの社会課題が生じており、さまざまな課題も私たちの目前に迫っている。特に65歳以上の高齢者への世帯の増加による「老老介護」や「認知介護」が深刻化しており、町の実情と対策について伺う。

町長 老老介護や認知介護については、緊急対策を講ずる必要がある問題であり、さまざまな手段で町の実情を国に伝えていく。町においても介護サービスの確保に留まらず、医療・介護、介護予防、住まいおよび自立した日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムをより推進する。在宅介護を支えている家族などが、公的サービスや社会資源を利用しながら、安心して介護を継続できる地域づくりを進めていく。

町主催のリモート会議にルールや規程を

町長 委員会の規模や状況も異なるため、一律のルールづくりは難しい。



老老介護のイメージ

質問 学校における性教育の拡充を求める声が高まっており、子どもが健康で幸福な生活を送るために包括的性教育が重要視されている。これは、性に関する知識だけでなく、人権、性の多様性、ジェンダー平等、人間関係など幅広い内容を包括的に学ぶ教育で、わが町でも積極的に推進すべきと考える。併せて、若者が友達や親には相談しづらい、性や心の悩みなどを気軽に相談できる「ユースクリニック」を開設すべきと考えるが、所見を伺う。

教育長 都の性教育の手引の基本的な考え方を踏まえ、教育活動全体を通じた取り組みを推進している。小学校では、性を社会的側面で捉え、正しい情報の選択を行えるようにしている。中学校では、性などのように向き合うか考え、誤った情報で自分や他人を傷つけないよう、行動の選択について考える。個別の相談は、学校での相談しやすい雰囲気づくりに努め、公認心理士などが、相談を聞く体制をとっている。

現段階ではユースクリニックの開設は難しい。子どもや若者の性の悩みへの有効な対策について、引き続き情報収集と研究を進めていく。

下野 義子 議員 (公明党)

包括的性教育の推進と「ユースクリニック」の開設を



教育長 開設は難しい。引き続き情報収集と研究を進めていく



ユースクリニックのイメージ

森 巨 議員 (自民誠和会)

「人」産業「魅力づくり」に
積極的な投資をすべきでは



町長 7年度から人材確保についても支援している

質問 町の活性化に必要とされる「人」産業「魅力づくり」について積極的な投資による底上げが必要と考え、次の3点について所見を伺う。

町長 町の活性化に必要とされる「人」産業「魅力づくり」について積極的な投資による底上げが必要と考え、次の3点について所見を伺う。

町長 人材の確保が課題。7年度からはこれまでの人材育成支援に加え、人材確保についても支援している。

町長 町内会などの加入率は、減少傾向にある。地域活性化には経済活動、文化活動、地域の住民生活意欲を向上させることが重要と考える。

大坪 国広 議員 (日本共産党)

町・都市公園のトイレ管理について再度問う



町長 地域との協働を主体に推進している

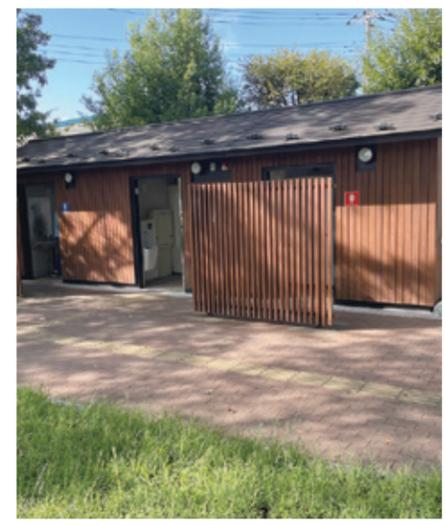


質問 町には、大小合わせて45カ所の都市公園があり、21カ所の多目的トイレが設置されている。特に、利用者の多い公園などで、ほこりや床面の汚れを目にし、住民からも清掃作業の改善を求める声が多数寄せられている。そこで、次の2点について所見を伺う。

町長 トイレの維持管理や清掃作業の回数など、現状をどのようにつけているか。

町長 公園管理は、町内会やシルバー人材センターなどに業務を依頼している。トイレ清掃は、利用状況などを考慮し、公園ごとに回数を設定し実施している。地域住民の協力は、公園や施設への愛着や責任感、住民意識の向上にもつながっている。

町長 公園清掃は、町内会やボランティアなど、地域との協働を主体に推進しており、マニュアルや点検表の導入は考えていない。公共施設をきれいに保つためにも、利用者一人ひとりに公共の財産であると感じていただき、いつまでも快適に使える環境づくりが大切と考えている。



下師岡公園に設置されているトイレ

町長 町内には、私たちの知らないところで高い技術や技能を有する方々が活躍している。こういう人材を掘り起こし、地域活動へのルートを確認できるかが、今後のまちづくりには重要である。さまざまなチャンネルを使って引き続き情報収集にあたりたい。

町長 産業活性化へ



不登校の子どもたちが参加した農業体験

箱根ヶ崎駅西口公有地を活用したにぎわいの創出について



町長 協働の取り組みとまちづくりを連携させ、着実に取り組む

質問 「多摩都市モノレール延伸を契機とした瑞穂町まちづくり基本計画」では、箱根ヶ崎駅西口公有地活用プロジェクト（OHAKOプロジェクト）を踏まえ、No.7 駅周辺の将来的な土地利用を検討するとしている。このプロジェクトは、町民主体の取り組みとして注目されており、にぎわい創出や創業支援の面で一定の成果を上げてきているが、今後の持続的な運営には改善も必要であると考えられる。今後の展望や課題への対応について所見を伺う。

町長 今年度、瑞穂町商工会に委託して課題抽出を実施して



駅西公有地にあるOHAKOYA (おはこや)

質問 国連の障害者権利委員会から日本政府に「インクルーシブ教育の権利を保障すべき」と勧告が出された。子どもの学が権利をどのよう

に保障するかさまざまな考え方があり、考えるが、インクルーシブ教育について次の2点を伺う。

町長 国の方針において推奨項目に追加された際、議論を進める。

教育長 障害者の権利に関する条約に、障がい者が能力を最大限まで発達させ、社会に効果的に参加することを可能とするという目的が示されている。障がいのある子どもと、ない子どもが共に学ぶ仕組みが必要で、個人に必要な合理的配慮の提供が必要。

町長 外国との共生は大切な。

町長 相互の理解が大切な。

川島 靖弘 議員 (立憲民主党)

インクルーシブ教育について



教育長 個人への合理的配慮の提供などが必要



教育長 就学支援委員会、その児童・生徒に適すると思われる学校を示す。その後、本人・家庭・学校の意思を確認し、できる支援や



井上 一也 議員 (もっと瑞穂に笑顔)

災害時における防火水槽の水の生活用水利用について



町長 火災発生時のために確保しておくもの

質問 わが町には大きな河川がなく、上水道が断水するよう大規模災害発生時には、生活用水の確保が課題となる地域がある。町が整備を進めるマンホールトイレ等も、生活用水がなければ衛生的な管理が困難となり、二次的な健康被害の恐れもある。人間の生活にとって水は不可欠である。現在、地域防災計画の改定作業を進めているが、災害時には防火水槽の水を生活用水として利用できるよう追記を検討すべきと考えるが、所見を伺う。

町長 防火水槽は、断水時でも使える重要な消防水利で、町内に198基の防火水槽を整備している。大規模災害時には火災が発生することが多いため、消火活動用水の確保が重要であり、消防署からも防火用に確保すべきとの話がある。私たちの生活にとって水は不可欠であり、生活用水の確保も重要だが、防火水槽の水は火災発生時のために確保しておくものと認識しており、改定中の地域防災計画に、文言を追記する考えはない。

町長 測定回数の変更にあり得るが、町民が安心できる数値であるかを確認できるように、調査は継続する。



高橋 洋子 議員 (自民誠和会)

「ふれっしゅはうす」の活用とさらなるにぎわいを



町長 加工場の関係者以外の利用は衛生的に難しい

質問 「ふれっしゅはうす」の加工場を有効活用し、農家や事業者が規格外野菜や果物を使った特産品などを製造することが可能になれば、農家などの新たな収益源が確保されると

町長 「ふれっしゅはうす」は町が運営しているものではなく、瑞穂町農畜産物直売所運営委員会が運営している。地域の場をつくり、さらにはSNSなどで情報発信も行い、にぎわいを創出すべきと考えられるが、所見を伺う。

町長 今後も産業経済課を中心に、運営委員会、JAにしたまとの協力し合い、農業の振興に取り組む。



農畜産物直売所 ふれっしゅはうす

町長 防火水槽は、断水時でも使える重要な消防水利で、町内に198基の防火水槽を整備している。大規模災害時には火災が発生することが多いため、消火活動用水の確保が重要であり、消防署からも防火用に確保すべきとの話がある。私たちの生活にとって水は不可欠であり、生活用水の確保も重要だが、防火水槽の水は火災発生時のために確保しておくものと認識しており、改定中の地域防災計画に、文言を追記する考えはない。



公園に設置された防火水槽 (むさし野地区)

大和 雅彦 議員（自民誠和会）

今後のふるさと納税返礼品の充実と
寄付額を増やすための対策について



町長 町のPRを軸とした返礼品の拡充に努める



質問 総務省は、6月24日の告示により、返礼品提供事業者への返礼品の付加価値基準における算出方法の明確化や募集費用の適正な運用を促進する方針を打ち出した。「地場産品基準の厳格化」と

正に伴う影響と今後の対策について

町長 返礼品をさらに充実させるには、町内事業者の協力が不可欠である。町の魅力発信が新たな返礼品の発掘

町長 自主防災組織や学校などと連携を取りながら、若い世代の育成や地域防災の向上に取り組んでいく。

町長 人口減少が進む中で、孤独・孤立などの複雑、多様化



町の返礼品の一部（さとふるHPより）

箱根ヶ崎駅コンコースの横断幕の活用を

町長 東西自由通路全体をPRの場と捉えた各種啓発活動を実施していく。

防災士資格を取得する費用の補助を

町長 自主防災組織や学校などと連携を取りながら、若い世代の育成や地域防災の向上に取り組んでいく。

質問 ペット防災手帳は、災害時にペットと飼い主が安全に避難するための情報をまとめた便利なツールである。手帳にはペットの健康状態、ワクチン履歴、緊急連絡先などを記載する。導入することで、ペットと飼い主が安全に避難し、被災後も安心して生活ができるようになる。日常の備えや災害時の対応などに加えて、ペットのプロフィールを記載することでペットの手帳にもなる。町でも作成と配布をすべきと考えるが、所見を伺う。

町長 手帳の実際の携行率、記入・更新率が飼い主の意識に左右されやすく、手帳作成の費用対効果の面から見ると、実効性が見えにくい課題がある。また、防災に関する情報をホームページ、パンフレットなどに掲載してあり、ペット防災手帳と同様の機能を果たすものと考えている。ペット防災手帳の新規作成は考えていない。現在配布している「愛犬健康手帳」やホームページを活用し、飼い主の自助であることの認識やペット同行避難への住民理解が浸透するよう、必要な情報の提供・周知に取り組んでいく。

香取 幸子 議員（自民誠和会）

ペット防災手帳の作成と配布を



町長 新規作成は考えていない



日野市のペット防災手帳

質問 昨今、鹿児島県トカラ列島周辺の長期にわたる地震やロシアの地震による津波などが発生している。町でも災害対策をさらに充実させるべきと考えるが、次の3点について所見を伺う。

町長 新総合防災情報システムを補完的に運用する

町長 東京都災害情報システムを主に運用し、新総合防災情報システムを補完的に運用していく。新物資システムは、利用環境を整え、防災力強化につなげていく。災害時情報集約支援チームは、地域防災計画改定の中で

町長 避難行動要支援者名簿の作成状況および名簿情報提供後の取扱いについて。

町長 名簿は毎年作成し、自主防災組織、警察署、消防署などに提供し、特に自主防災組織には平時から各地域の対象者の状況確認をお願いしている。

町長 災害時のマイナンバーカードの活用法とその活用による利点の周知について。

町長 マイナンバーカードに頼らずに運用できる被災者生活再建支援システムを導入している。

下澤 章夫 議員（自民誠和会）

今後の災害対策を問う



町長 新総合防災情報システムを補完的に運用する



防災訓練での瑞穂町災害対策本部

町長 マイナンバーカードに頼らずに運用できる被災者生活再建支援システムを導入している。

古宮 郁夫 議員（自民誠和会）

孤独死・孤立死について



町長 分野横断的な複合支援が求められている



質問 内閣府は、孤立した状態で亡くなった（死後8日以上経過して発見）とみられる人数を初めて推計し公表した。2024年において、2万1,856人で、男性1万7,364人・女性4,466人・不詳26人である。同年4月施行の孤独・孤立対策推進法では、孤独や孤立を「社会全体の課題」と位置づけている。多死社会の到来、未婚率の上昇と高齢者の単独化など、さまざまな社会問題が混在する中、町の取り組みを問う。

町長 人口減少が進む中で、孤独・孤立などの複雑、多様化

町長 分野横断的な複合支援が求められている

町長 地域生活課題の解決には、一つの分野・領域のみでの対応ではなく、分野横断的な複合支援が求められている。また、地域においても、従来のような支え手側と受け手側に分かれるのではなく、緩やかな見守りや声掛けなど、地域のあらゆる住民が役割を持つケアリングコミュニティの構築が不可欠となっている。引き続き、孤独・孤立への対策、防止に当たっていく。



孤独・孤立対策に関する施策の推進を図るための重点計画

ケアリングコミュニティ…あらゆる住民が地域の中で社会参加し、相互関係をつくり、自己実現に留まらず共生できる地域社会。

7陳情第8号 「建築物石綿含有建材事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める国への意見書」提出を求める陳情書

総務産業
建設委員会で
審査

【陳情者】 東京土建一般労働組合西多摩支部 執行委員長 辻岡 邦之
常任執行委員 功刀 誠

【陳情の趣旨】 国に対して建築物石綿含有建材事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める国への意見書を提出してほしい。

一全
致会

担当部署への主な質疑

Q アスベスト関連や助成金に対しての問い合わせはあるか。

A 年間2~3件ある。町への届出義務がないので、東京都を紹介している。

Q アスベストのレベルによる廃棄物の分類と処分方法は。

A 産業廃棄物の処理に関しては東京都が担当しているので、町では把握していない。

Q アスベストのレベル1とレベル3で、作業上の違いは。

A レベル1・2の場合、飛散の恐れがあるので、発注者が東京都へ届出を行う必要がある。レベル3の場合、元請業者(例：解体業者)が作業計画を策定すれば、届出なしで作業を開始できる。

議員間討議での主な意見

一般住宅ではレベル3のアスベスト建材が多く、調査せずに解体される例もある。

住民の認知度が低く、周知が不十分。レベル3のアスベスト建材の調査・除去に対する助成制度の整備が必要。

国民にアスベストの危険性を周知すべき。

無届・違法工事が増加傾向にあるのは、国の周知不足が原因なのではないか。

調査・除去費用が高額になるため、国が補助すべき。

個人負担は厳しい。国が責任を持って費用を支援すべき。

アスベストは人体に深刻な影響を与えるため、国が主導して対応すべき。

委員会での審査結果は採択すべきものとなり、その後、本会議で採択が議決されました。

議員提出議案 第1号 建築物石綿含有建材事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める意見書(要約)

瑞穂町議会は国会及び政府に対し、次のとおり対策を求める。

- 1 大気汚染防止法による建物解体などにおける飛散防止対策について、監視・指導体制を強化すること。
- 2 国民に対し、アスベストの健康被害、アスベスト関連法の改正について周知徹底すること。
- 3 住宅・建築物アスベスト改修及び解体工事について、アスベストのレベルにかかわらず、建築物の所有者等に対する調査・除去費用の補助制度を拡充すること。

令和7年9月24日

東京都西多摩郡瑞穂町議会

衆議院議長、参議院議長

内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、内閣官房長官 宛

その他の陳情

番号	件名	付託先	結果
7陳情第7号	国民健康保険の加入者に対する資格確認書の一斉交付に関する陳情	総務産業建設委員会	不採択

※全ての陳情の詳細はHPでご覧いただけます。



原 隆夫 議員 (公明党)

空き家条例の早期制定 および空き家対策の推進を



町長 条例制定を見据えた空き家等対策計画策定に着手している



質問 空き家条例は、に内包する形式で、放置された空き家が、空き家等対策計画策定に着手している。衛生問題、景観の悪化などに対処できる。ように制定される。空き家法は全国的に適用される法律だが、各自自治体が地域の実情に合わせて空き家対策を強化するためには空き家条例が必要になる。多くの自治体が制定し効果が認められている。わが町も実情にあった空き家条例を早期制定すべきと考える。また、空き家の活用や相談体制の強化を進めたい。

体制の強化はNPO

法人と空き家に関する総合相談事業に関する協定を締結し、問い合わせなどに対応できる体制を構築している。今後専門的知見を持った団体などと連携強化を図れるよう、努めていく。

町長 令和7年度に住宅マスタープラン



NPO法人 空家・空地管理センターHPより

要望活動

基地対策特別委員会

瑞穂町と瑞穂町議会 合同による要望活動

7月16日、議会は町と共に防衛省・北関東防衛局・外務省・総務省・環境省(郵送)に対し、横田基地に関する要望活動を行いました。

主な要望内容

- CV-22オスプレイや常駐機C-130の市街地上空における低空・旋回飛行、夜間および早朝の飛行訓練の中止。
- CV-22オスプレイの墜落事故を受け、今後の配備に当たっては事前の情報提供、具体的な説明を行うこと。
- 防音工事の区域の拡充、対象建築家屋の拡大、希望届提出後の速やかな工事実施。
- 泡消火薬剤の漏出について、地下水などへの影響に関し、調査・分析・評価を行い公表するなど、詳細な情報を速やかに提供すること。

全11項目にわたって、町民の安全と良好な生活環境の確保や迅速で正確な情報提供を強く要望しました。



左から 井上副委員長、山崎町長、小川議長、森 前北関東防衛局長、原委員長、下澤副議長

女子野球で全国大会出場・・・どんな練習もみんな楽しく

(写真左から) 雨宮 遥香さん(中1)、三澤 明空さん(中1)、小山 優輝乃さん(中3)、三澤 里彩さん(中3)

瑞穂町在住の4人が所属している女子野球チームの立川ホーネッツは、東京都代表として全国大会に出場しました。4人とも野球を始めたのは、お兄さんの影響で小学校低学年の頃からです。印象に残ったのは「全国大会での1勝」「先輩が卒団後に私たちだけでやっと勝てたこと」「どんな練習もみんな楽しくやれたこと」と目を輝かせて答えてくれました。特に、卒団する2人の3年生には新しい世界が待っています。2人がそれぞれ選んだ道。その世界でも輝くようにみんなで応援しましょう。さあ！みんなで一緒に「プレイボール！」



仲間を募集しています!!

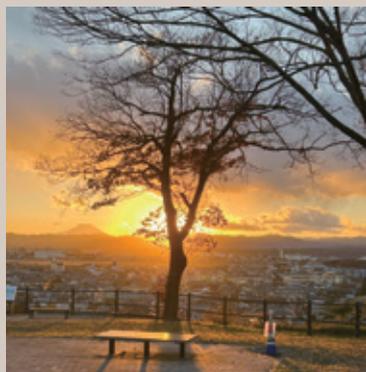
次回 12月定例会 (予定) 12月1日~16日

日	月	火	水	木	金	土	
16	11月	17 請願、陳情の 受付締め切り日	18	19	20 議会運営委員会	21	22
23 勤労感謝の日	24 振替休日	25	26	27	28	29	
30	1 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問・議案審議)	3 本会議 (一般質問・議案審議)	4	5 総務産業建設委員会 広報広聴委員会	6	
7	8 厚生文教委員会	9	10 長期総合計画後期基本計画 特別委員会	11 長期総合計画後期基本計画 特別委員会	12 議会運営委員会	13	
14	15	16 本会議 (議案審議)	17	18	19	20	

■本会議、委員会の開始時刻は午前9時30分からです。なお、広報広聴委員会の開始時刻は午後1時30分からになります。上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴に来られる際は、お電話または、ホームページで日程をご確認のうえご来庁ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

編集後記



六道山(石畑地区)

「忙しい」は「立心偏(心)」と「亡」を合わせた漢字です。長く続いた酷暑の中での仕事や勉強で、少し「心」に余裕が「亡」になったような気がします。読者の皆さまはいかがですか。秋の清涼な風が心も身体もリフレッシュするように包んでくれるといいですね。「ギカイのひろば」も読者の皆さまからもっと親しまれるように委員一同リフレッシュして、編集していきます。

文：森 亘

広報広聴委員会 広報部会員
森 亘 榎本 義輝
大和 雅彦 井上 一也
川島 靖弘 浜崎 崇



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。